令和３年度　高松市病院事業会計決算の概要

病院局

高松市立みんなの病院
Takamatsu Municipal Hospital

１．令和３年度決算のポイント

（１）前年度比較

決　算	令和 ３ 年度　A	令和 ２ 年度　B	前年度比較　A - B	
			増　減	増減比率
決　算　規　模（税込）	105.0 億円	107.5 億円	▲ 2.5 億円	▲ 2.3 %
みんなの病院	98.0 億円	100.1 億円	▲ 2.1 億円	▲ 2.1 %
塩　江　分　院	7.0 億円	7.4 億円	▲ 0.4 億円	▲ 4.9 %
経　常　収　支（税抜）	7.7 億円	3.8 億円	3.9 億円	102.3 %
みんなの病院	7.2 億円	2.6 億円	4.6 億円	174.4 %
塩　江　分　院	0.5 億円	1.2 億円	▲ 0.7 億円	▲ 56.3 %

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率等が一致しない場合がある。

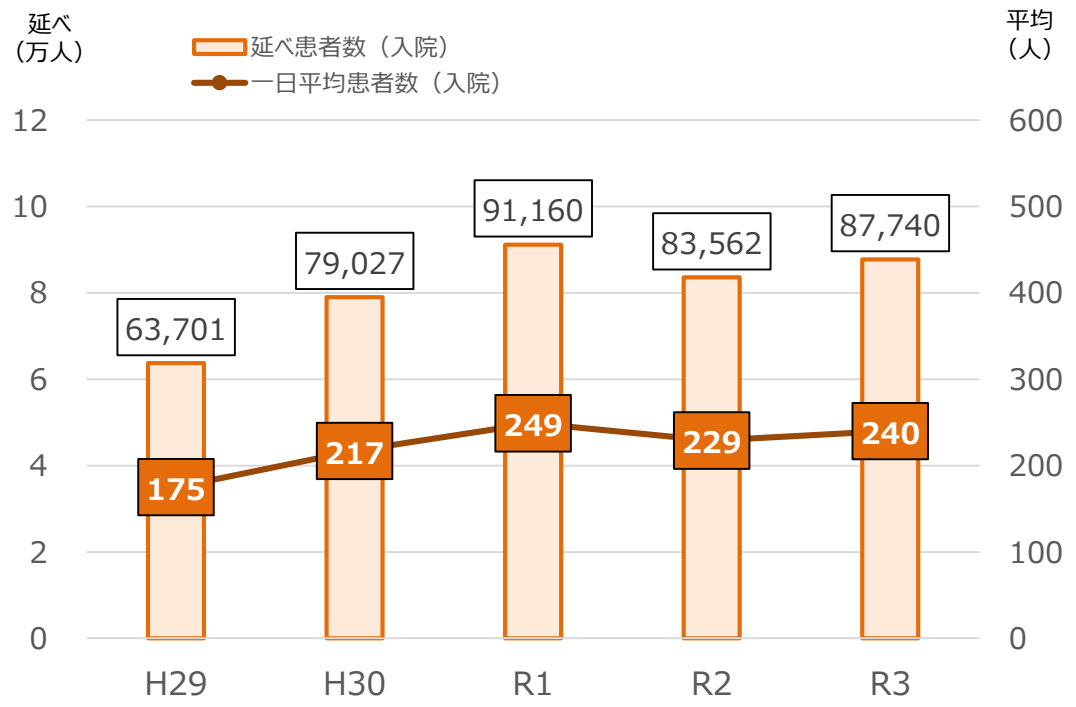
（２）決算のポイント

- **決算規模**（収益的支出及び資本的支出の合計）は、医療器械等の購入費が減少したことなどから、**２.５億円の減**
- みんなの病院の**経常収支**は、一般診療と感染症医療の両立を図ることで、医業収益が増加し、加えて新型コロナウイルス感染症に係る補助金の受入れなどにより、**７.２億円の黒字**
- みんなの病院の**入院･外来収益**は、入院･外来患者数がともに前年度から増加し、また診療単価も上昇したことから、前年度から**６.６億円増の６９.３億円**（＋１０.５%）
- みんなの病院の補助金や繰入金を含まない**修正医業収支**は、**３.９億円の改善**
- **一般会計繰入金１９.０億円**（▲７.８%）は、建設改良費に対する繰入額の減などに伴い**減少**
- **現金残高**は、前年度比**８.５億円増の２４.７億円**

２．業務の状況①（患者数）

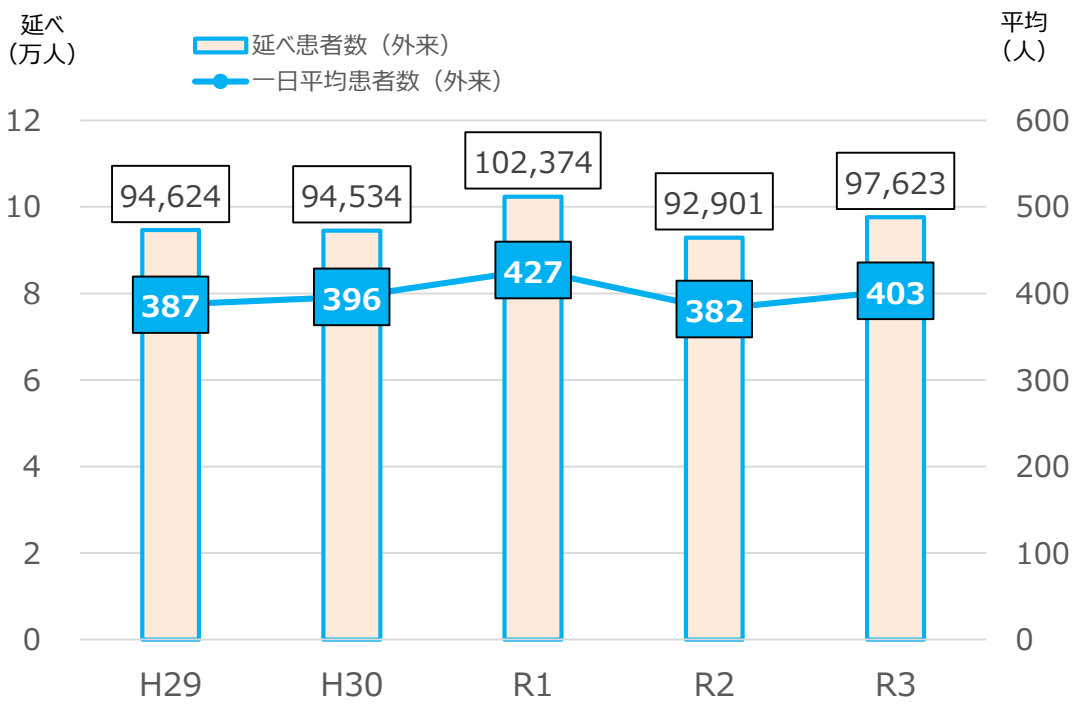
（１）みんなの病院

入　院



入院患者数は、コロナ禍前の元年度には及ばないものの、積極的に救急患者の受入れを図るなどにより、２年度から５．０％増加となり、一定の回復が図られた。
（対Ｒ１比：▲３．８％）

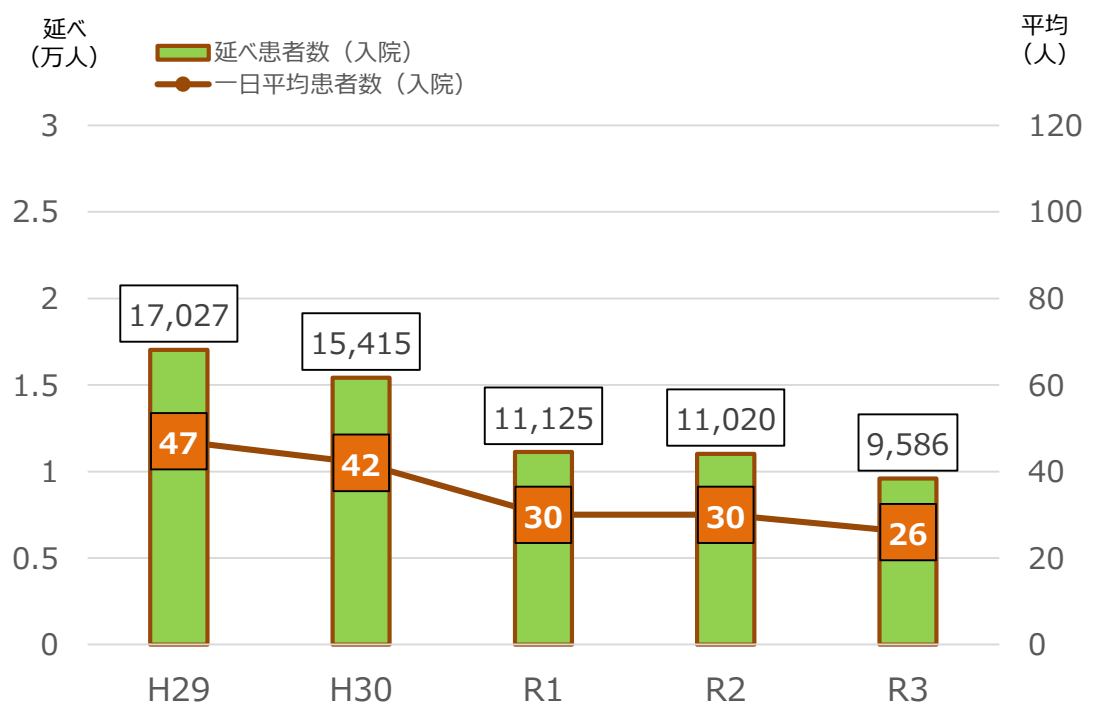
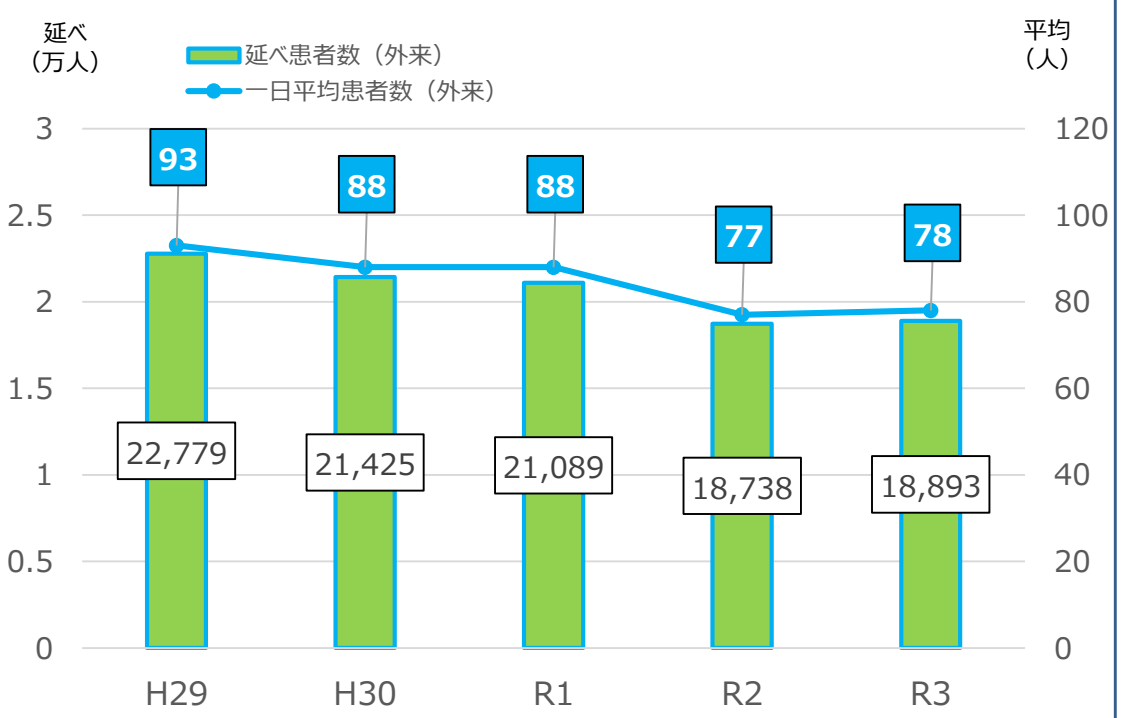
外　来



外来患者数は、コロナ禍前の元年度には及ばないものの、地域医療連携の強化による、紹介患者の獲得を図ることで、２年度から５．１％増加となった。
（対Ｒ１比：▲４．６％）

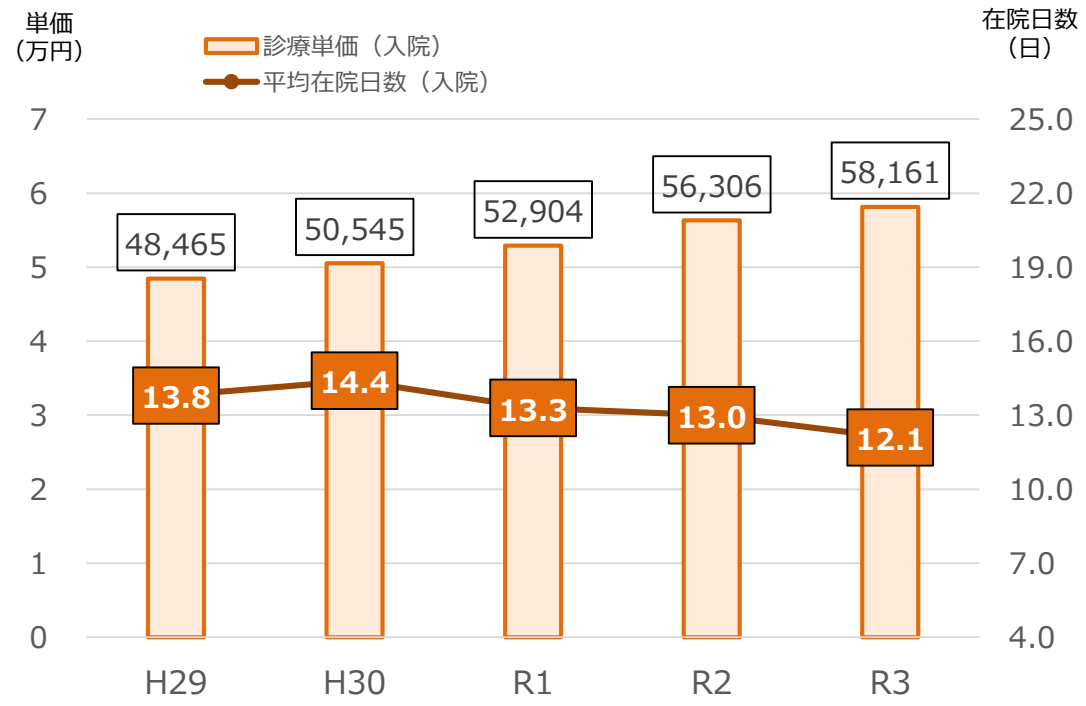
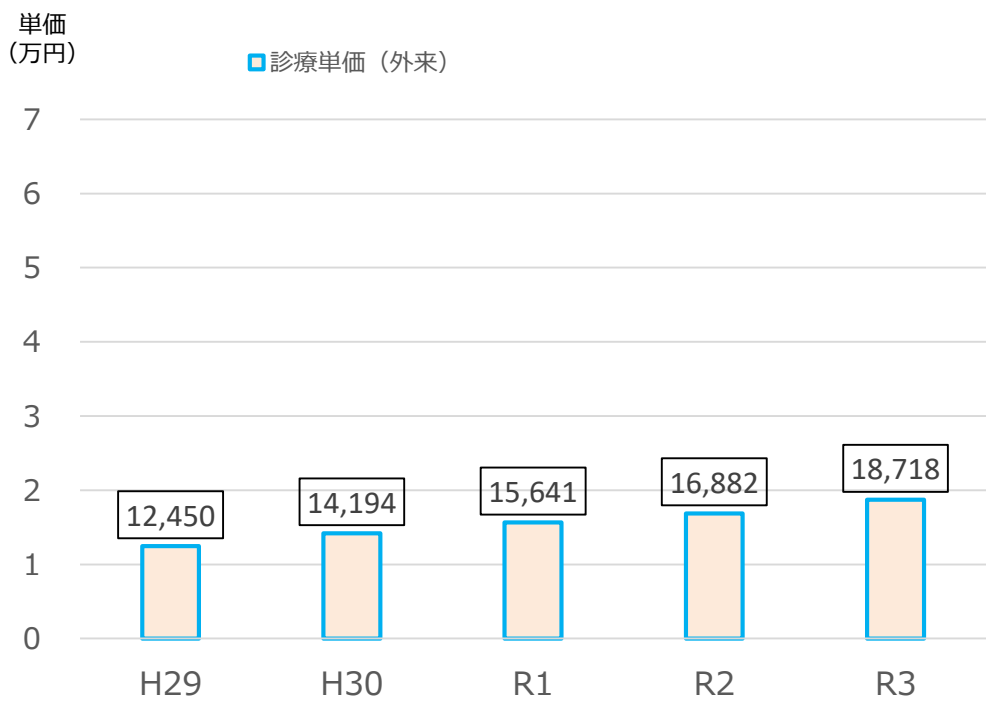
２．業務の状況①（患者数）

（２）塩江分院

	入　院	外　来
塩江分院		
	塩江地区住民の減少や入院患者の施設入所などが影響し、２年度から１３.０%減少した。 （対Ｒ１比：▲１３.８%）	２年度から０.８%の増加と、概ね前年度を維持しているが、新型コロナウイルス感染症による、受診控えなどの影響により、コロナ禍前の元年度からは減少している。 （対Ｒ１比：▲１０.４%）

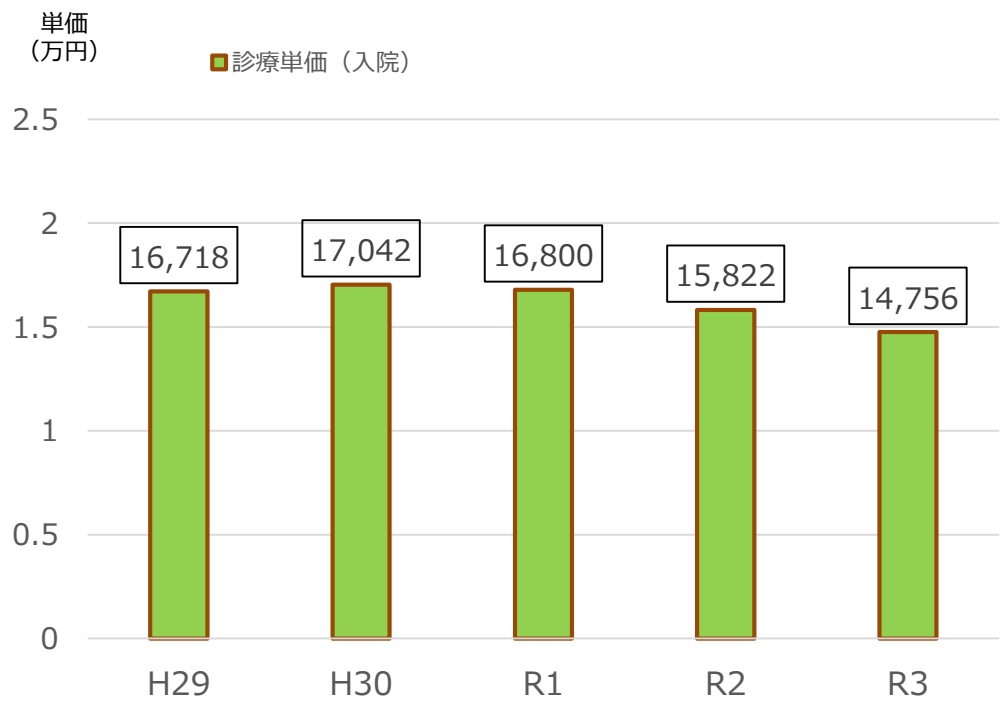
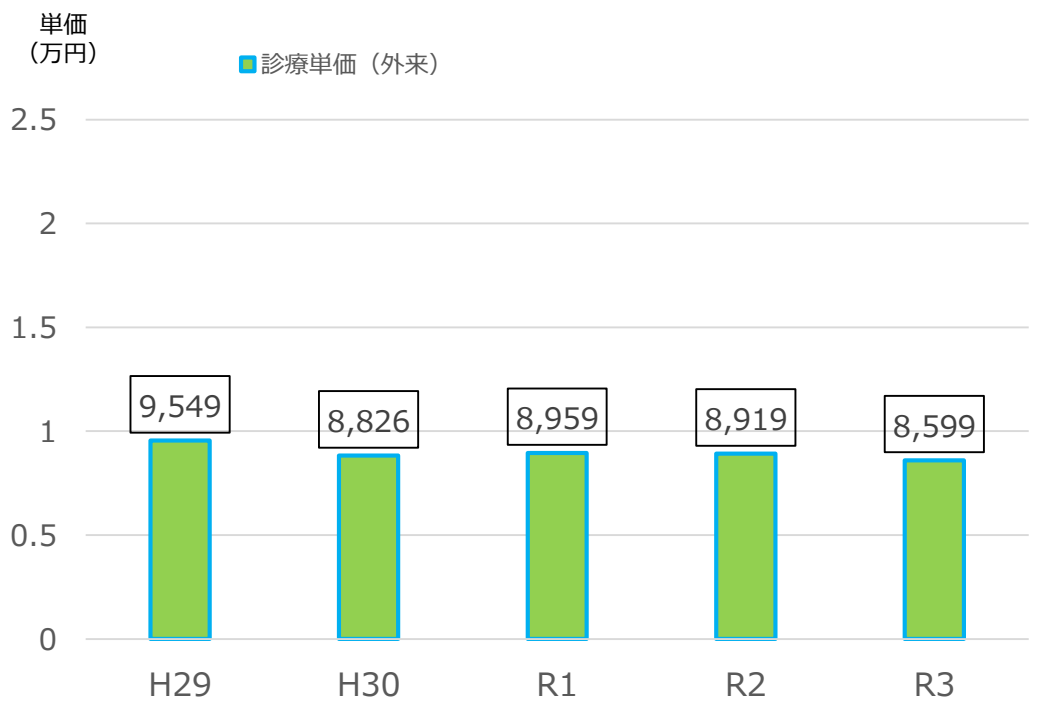
２．業務の状況②（診療単価）

（１）みんなの病院

	入　院	外　来
みんなの病院		
	効率的な病床管理の徹底や、がん・救急医療に注力したことなどに伴い、入院単価が３．３％増加した。	がん治療など、高額薬品を使用する患者が増加したことから、外来単価が１０．９％増加した。

２．業務の状況②（診療単価）

（２）塩江分院

	入　院	外　来
塩江分院		
	塩江地区住民の減少や施設入所などが影響し、実入院患者数が減少したことにより、６．７％減少した。	新型コロナウイルス感染症に係る受診控えや、後発医薬品の使用推進等により、３．６％の減少となった。

３．収益的収入及び支出（税抜き）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区　分	R３	R２	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収益（みんなの病院）	9,770	9,219	551	6.0	
医業収益	7,815	7,115	700	9.8	
うち入院収益	5,103	4,705	398	8.5	患者数 83,562人 → 87,740人　診療単価 56,306円 → 58,161円
うち外来収益	1,827	1,568	259	16.5	患者数 92,901人 → 97,623人　診療単価 16,882円 → 18,718円
うち一般会計繰入金	572	558	14	2.5	救急医療の確保に要する経費 ＋ 14,012千円
医業外収益	1,881	1,797	84	4.7	コロナ関係補助金 ＋ 132,116千円
うち一般会計繰入金	624	663	▲ 40	▲ 6.0	高度医療 ▲ 35,245千円
特別利益	75	308	▲ 233	▲ 75.7	②コロナ対応従事者慰労金 ▲ 132,857千円
費用（みんなの病院）	9,047	8,823	224	2.5	
医業費用	8,547	8,255	292	3.5	
うち給与費	4,501	4,588	▲ 87	▲ 1.9	退職給付費 ▲ 35,658千円、給料 ▲ 34,609千円
うち材料費	1,675	1,406	269	19.1	薬品費 ＋ 231,341千円、診療材料費 ＋ 32,918千円
うち経費	1,277	1,219	58	4.8	応援医師謝礼 ＋ 12,841千円、光熱水費 ＋ 11,177千円、修繕料 ＋ 16,609千円
医業外費用	426	393	33	8.4	雑損失 ＋ 31,077千円
特別損失	73	174	▲ 101	▲ 58.0	②コロナ対応従事者慰労金 ▲ 132,857千円
当年度純利益	724	397	327	82.4	
経常損益（特利･特損を除く）	**722**	**263**	**459**	**174.4**	

３．収益的収入及び支出（税抜き）

（２）塩江分院

単位：百万円

区　分	R３	R２	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収益（塩江分院）	701	833	▲ 133	▲ 15.9	
医業収益	315	351	▲ 36	▲ 10.3	
うち入院収益	141	174	▲ 33	▲ 18.9	患者数 11,020人 → 9,586人　診療単価 15,822円 → 14,756円
うち外来収益	162	167	▲ 5	▲ 2.8	患者数 18,738人 → 18,893人　診療単価 8,919円 → 8,599円
医業外収益	370	459	▲ 90	▲ 19.5	
うち一般会計繰入金	360	447	▲ 87	▲ 19.4	不採算病院運営経費 ▲ 89,272千円
附帯事業収益	15	15	▲ 0	▲ 0.4	利用者の減 1,828人 → 1,714人（▲ 114人）
特別利益	1	8	▲ 7	▲ 84.7	②コロナ対応従事者慰労金 ▲ 6,354千円
費用（塩江分院）	648	713	▲ 65	▲ 9.1	
医業費用	610	665	▲ 55	▲ 8.3	
うち給与費	425	473	▲ 48	▲ 10.2	退職給付費の減 ▲ 37,084千円、給料・手当の減 ▲ 6,617千円
うち材料費	81	84	▲ 3	▲ 3.4	
うち経費	92	95	▲ 3	▲ 2.8	
医業外費用	16	18	▲ 2	▲ 11.8	
附帯事業費用	21	23	▲ 1	▲ 6.5	
特別損失	1	7	▲ 6	▲ 87.8	②コロナ対応従事者慰労金 ▲ 6,354千円
当年度純利益	53	120	▲ 68	▲ 56.3	
経常損益（特利・特損を除く）	**52**	**120**	**▲ 67**	**▲ 56.3**	

４．資本的収入及び支出（税込み）

（１）みんなの病院

単位：百万円

区　分	R３	R２	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収入（みんなの病院）	537	982	▲ 445	▲ 45.3	
企業債	166	500	▲ 335	▲ 66.9	医療備品購入費の減少に伴う企業債の減 ▲ 392,200千円（②手術支援ロボット等）
負担金交付金	319	382	▲ 63	▲ 16.4	企業債償還に対する一般会計負担金の減少に伴う減 ▲ 62,866千円
補助金	52	100	▲ 48	▲ 48.0	県補助金の減少 ▲ 34,933千円　国庫補助金の減少 ▲ 10,887千円
支出（みんなの病院）	731	1168	▲ 437	▲ 37.4	
建設改良費	222	606	▲ 384	▲ 63.4	
資産購入費	148	605	▲ 457	▲ 75.5	医療備品購入費の減少 ▲ 456,612千円（②手術支援ロボット等）
繰越資産購入費	73	0	73	皆増	手術支援ロボット関連機器の購入 ＋ 73,414千円
病院施設費	0	1	▲ 1	皆減	
企業債償還金	469	562	▲ 93	▲ 16.6	H27年度借入分（電子カルテ）の企業債償還終了に伴う減 ▲ 99,574千円
他会計借入金償還金	39	0	39	皆増	H28年度借入分の償還開始に伴う増 ＋ 39,000千円
その他	1	0	1	皆増	助産師修学資金貸付金 ＋ 1,100千円
収支差引（補塡額）	▲ 194	▲ 186	▲ 77	▲ 4.1	

４．資本的収入及び支出（税込み）

（２）塩江分院

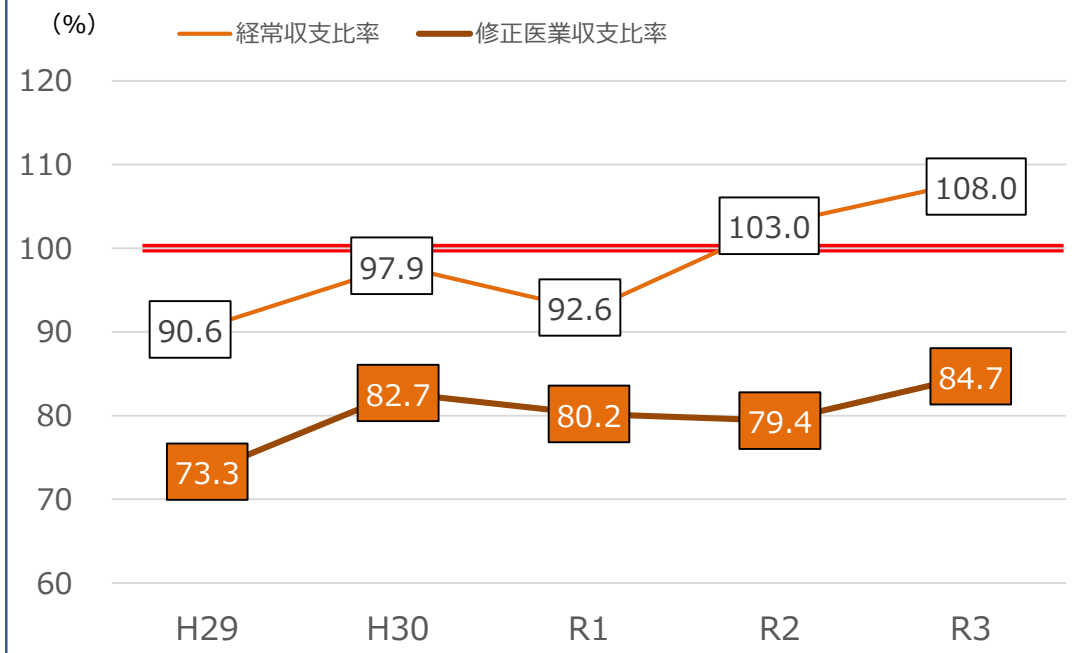
単位：百万円

区　分	R３	R２	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収入（塩江分院）	35	10	25	240.1	
企業債	10	0	10	皆増	資産購入費分 ＋ 2,500千円
附属医療施設分	7	0	7	皆増	附属医療施設整備費の増加に伴う増 ＋ 7,300千円
出資金	10	0	10	皆増	資産購入費分 ＋ 2,586千円
附属医療施設分	8	0	8	皆増	附属医療施設整備費の増加に伴う増 ＋ 7,688千円
負担金交付金	15	10	5	53.5	一般会計負担金の増 ＋ 3,262千円
支出（塩江分院）	50	21	29	135.3	
建設改良費	44	13	31	239.3	
資産購入費	7	0	7	1687.0	医事･処方･介護システム等 ＋ 7,018千円
附属医療施設	30	0	30	皆増	道の駅エリア建築基本設計等負担金 ＋ 30,162千円
繰越附属医療施設	6	13	▲ 6	▲ 48.8	
企業債償還金	6	8	▲ 2	▲ 26.3	
収支差引（補塡額）	▲ 15	▲ 11	▲ 4	▲ 34.2	

５．経営指標の推移

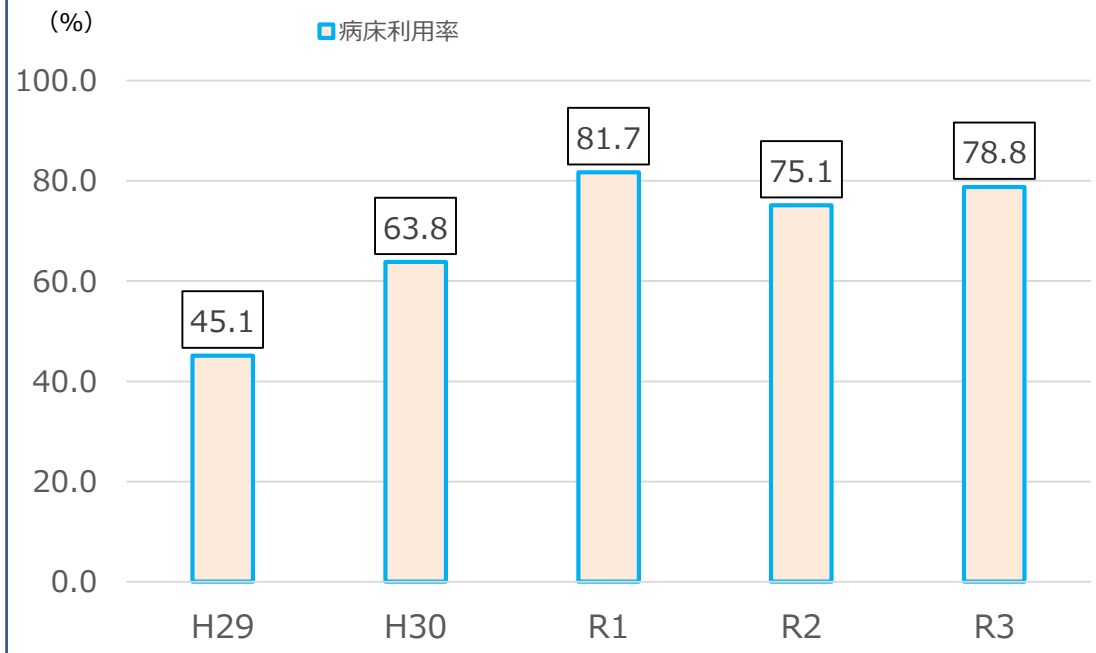
（１）みんなの病院

経常収支比率　　修正医業収支比率



入院収益などの医業収益の増加や、新型コロナウイルス感染症の補助金の受入れにより、健全経営の水準となる100%を上回った。また、補助金や繰入金などを除いた修正医業収支比率も、収支改善の推進により、昨年から5.3ポイント改善した。

病床利用率



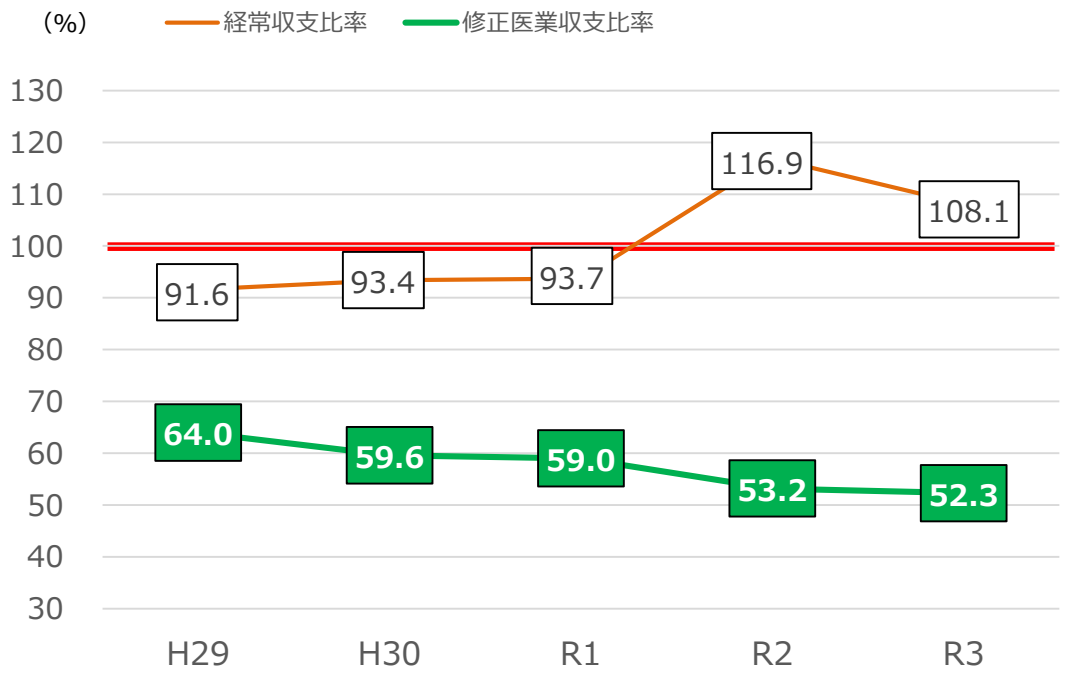
前年度比3.7ポイント増となっているものの、R元年度を下回った。これは、新型コロナウイルス感染症対応に伴い、一部病棟をコロナ専用病棟としたことで、使用できる病床が減少していることが影響している。

■経常収支比率とは　経営の健全性を示す指標。比率が高いほど健全であり、100%を超えると健全経営であることを意味します。
■修正医業収支比率とは　経営の収益性を示す指標。他会計繰入金などを望いて算定しており、比率が高いほど収益性が高く、100%を超えると独立採算であることを意味します。

５．経営指標の推移

（２）塩江分院

経常収支比率　　修正医業収支比率



病床利用率

塩江分院

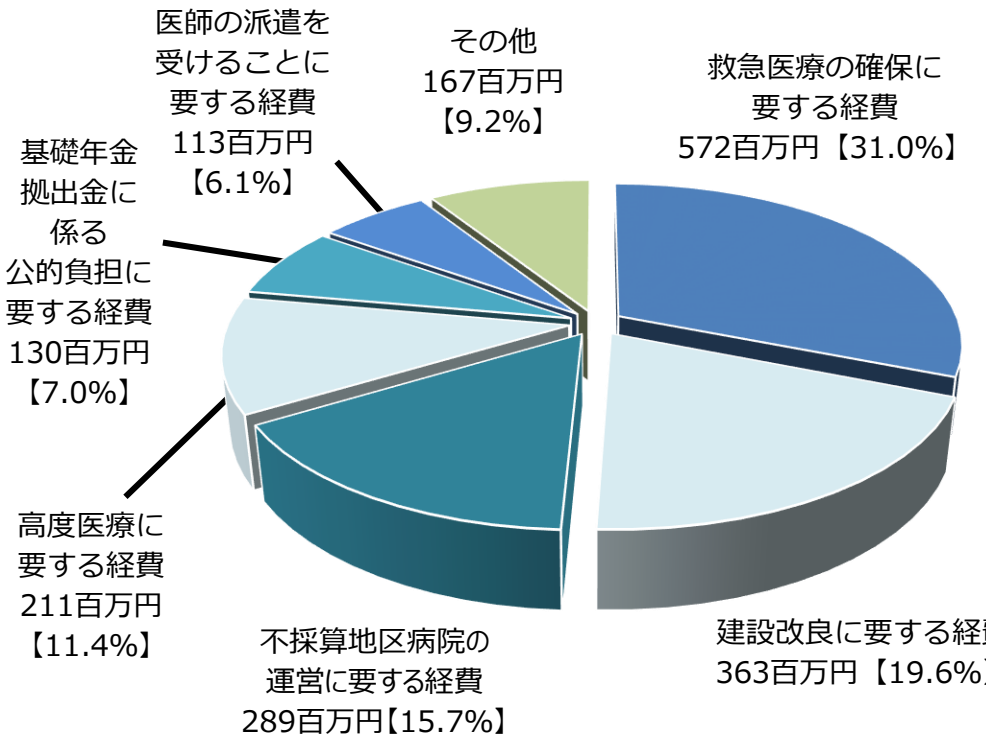
健全経営の100%を超えているが、他会計繰入金等を除いた修正医業収支比率は大きく減少しており、医業収益以外の収入に依存している状態である。

塩江地区の人口減少に伴う、患者数の減少などにより、今後も厳しい状況が見込まれる。

６．一般会計から病院事業会計への繰入金

単位:百万円

決算	Ｒ３年度	Ｒ２年度	増減	Ｒ４予算	備　　考
負担金	1,888	2,058	▲ 170	2,062	救急医療、建設改良、退職給与などに要する経費
出資金	10	0	10	18	附属医療施設整備事業などに要する経費
合　　計	**1,898**	**2,058**	**▲ 160**	**2,081**	
繰出基準内	1,846	1996	▲ 150	1,977	総務省通知
繰出基準外	52	62	▲ 10	104	地方交付税等措置対象外



基準内繰入の内訳

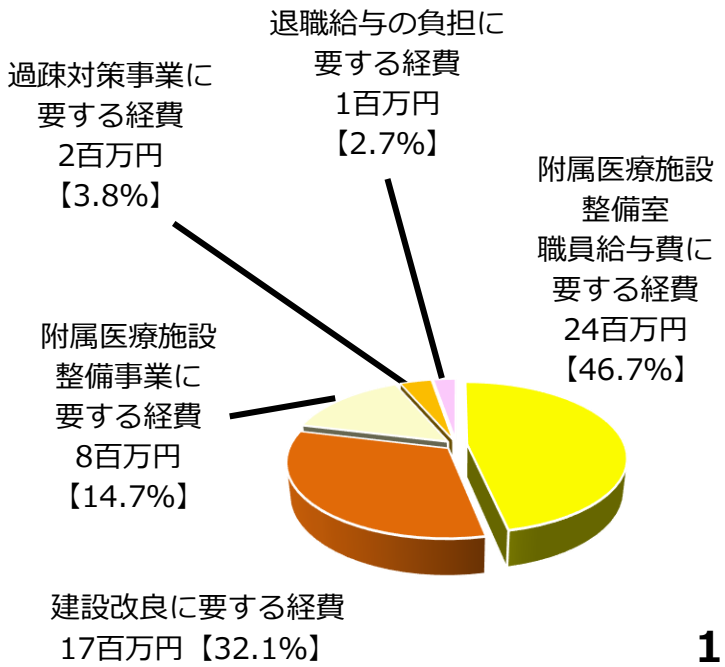
1,846百万円【97.2%】

（R2【97.0%】）

基準外繰入の内訳

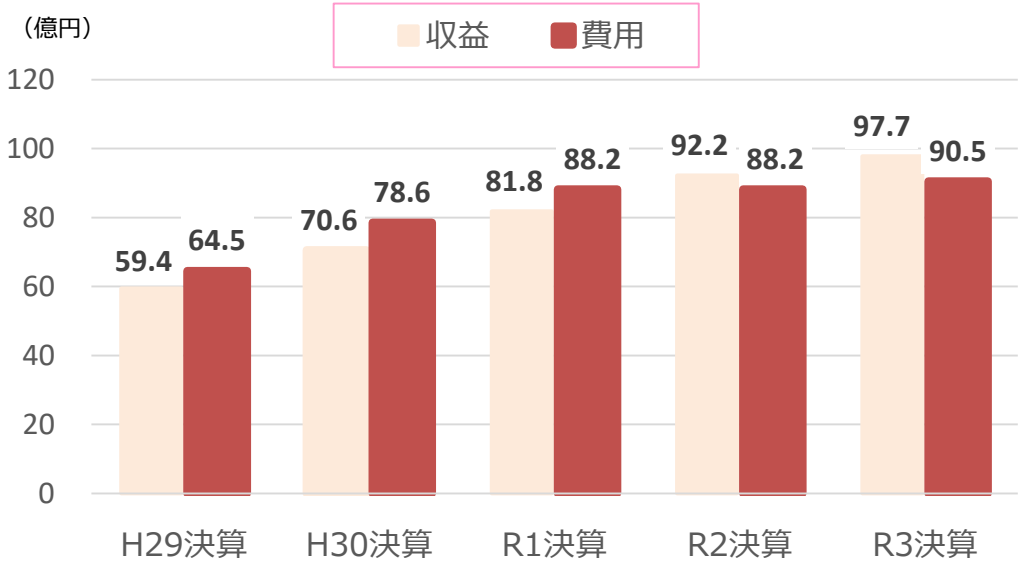
52百万円【2.8%】

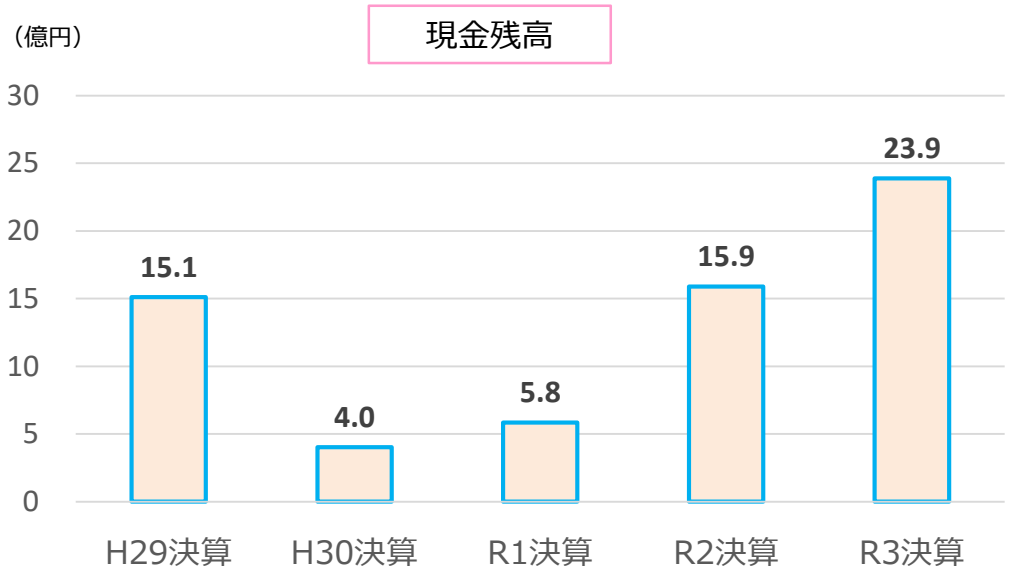
（R2【3.0%】）



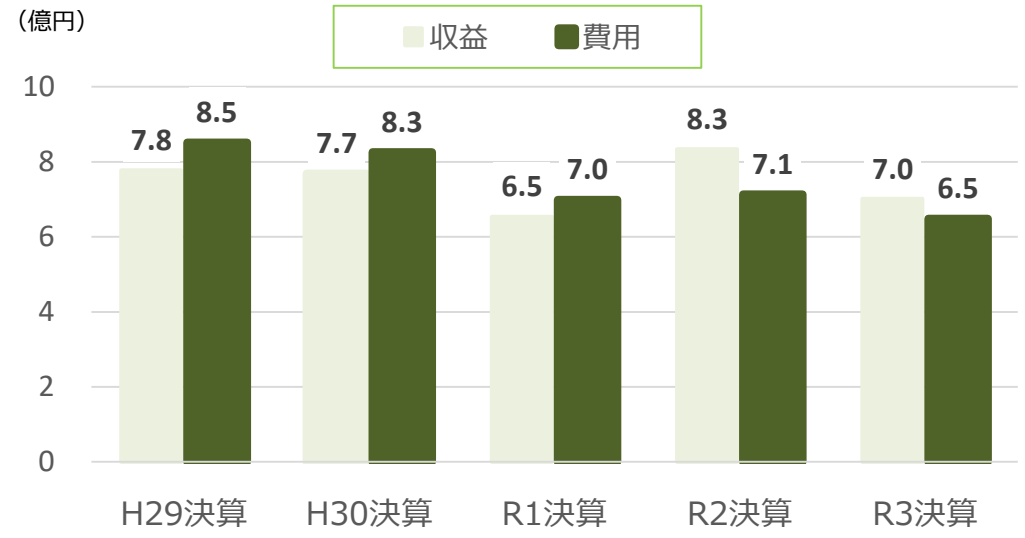
７．病院事業収益・費用及び現金残高の推移

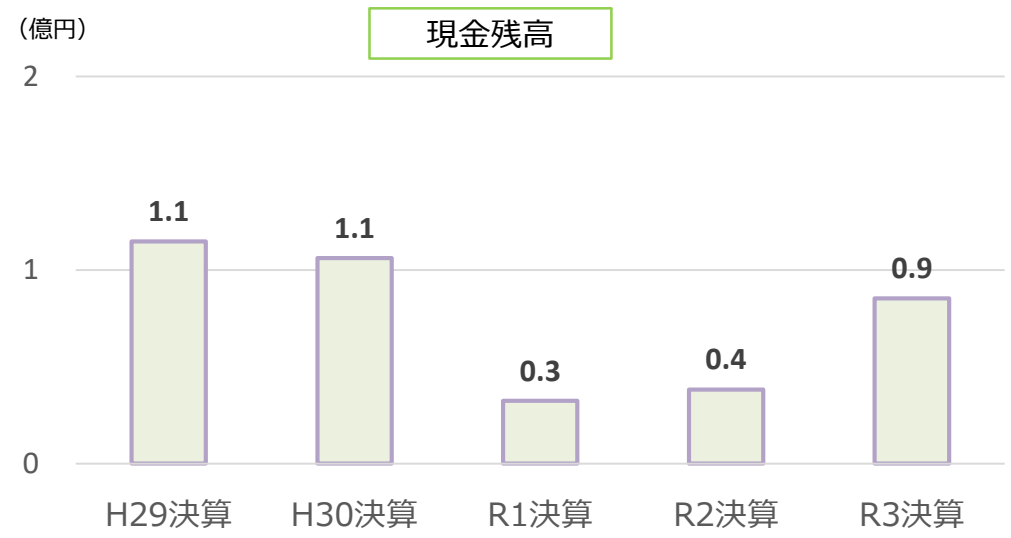
みんなの病院



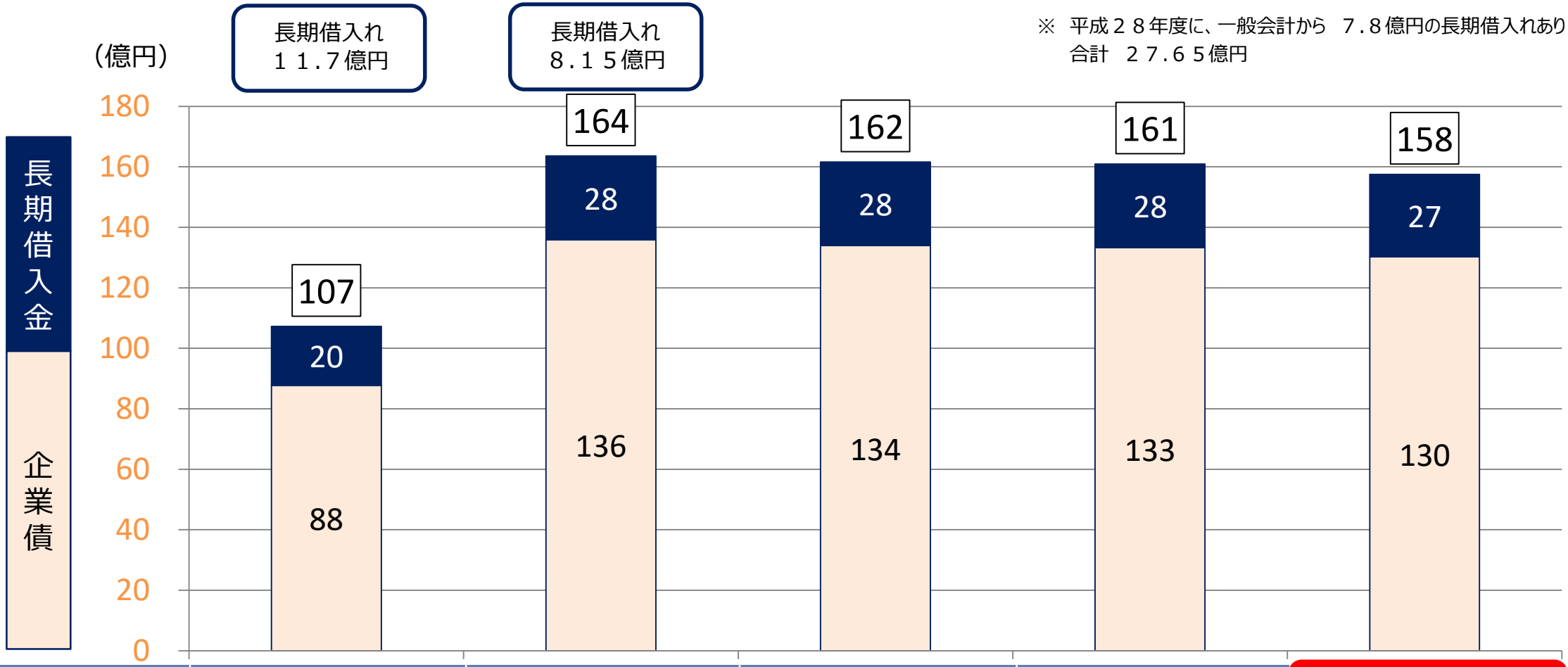


塩江分院





８．企業債及び長期借入金残高



（百万円）	H29	H30	R１	R2	R3
長期借入金	1,950	2,765	2,765	2,765	2,726
企業債	8,772	13,593	13,397	13,327	13,027
残高合計	10,722	16,358	16,162	16,092	15,753